

①



B児「なに？」
A児「お水いっぱい」

お水だー！

②



やってみよう！

③



バチャバチャ〜

④



エピソード

大雨の次の日、園庭に出ると①A児が「あ、お水だ！」と手押し車に水が溜まっているのを見つけました。「本当だ、いっぱいだね」と保育者が声をかけると、A児は手押し車をひっくり返し、ジャバーン！と水を流しました。「きゃあー！」と嬉しそうに声をあげ、水の流れる様子を見ていました。

その声を聞いたB児が「え、これなに？」とA児のしていることに気付き、やってきました。保育者が、②「Aくん、なにしてるの？」と聞くと、「お水、いっぱい」と答えました。保育者が「お水いっぱいなんだって！流れたのかな？」とA児のしていることをB児に伝え、と、「やってみよう」と、③A児の姿を真似て、手押し車の水を勢いよく流しました。2人で、「うわあー！」と歓声をあげ、顔を見合わせて嬉しそうにしていました。その後も、残りの手押し車の中の水を順番に流しては、「うわあー！」「流れたー！」と喜んでいました。

すると、辺りが水溜まりでいっぱいになりました。④A児がその場で足踏みすると水がかかりました。それを見たB児も水溜まりで足踏みをしました。「バチャバチャかかったね」と笑顔で声をかけました。何度もしていると数名の子ども達もやってきて、同じ様に足でバチャバチャしました。「バチャバチャだね」「気持ちいいね」と声を掛けると、にっこり笑って、「うん」と、にこにこ笑顔の子ども達でした。

保育者の思い

雨上がりに偶然手押し車に水が溜まっていることを発見したA児。目を輝かせて、嬉しそうにしていたので、この後どうするのか見守りたいと思いました。

友達の様子が気になったきっかけを大切に感じ、B児の問いかけに対して、保育者が間に入り、言葉を代弁しました。

B児がA児のしていることに気付き、一緒に真似て遊び始めたことに、友達の存在を身近に感じていることがわかり、嬉しい気持ちになりました。

水溜まりをバチャバチャしていると他の子どもも興味津々な様子で近付いてきたので、友達と一緒に泥や水の感触を感じられたらいいなと思いました。保育者も一緒にすることで、みんなで楽しい時間を過ごすことができました。

子どもの育ちや学び

- ・毎日、園生活を送ることで、安心して過ごすことができ、行動範囲が広がってきました。
- ・周りの様子に目が向くようになったことで、雨上がりに手押し車に水が溜まっている様子、流したら水が広がっていく様子に気付き、楽しんでいます。
- ・同じ場にいる友達に興味をもち始めています。
- ・水を流したり、水溜まりでバチャバチャしたりして、友達や保育者のしていることを真似て遊ぶことを喜んでいます。
- ・水に触れたり、水が流れたりする様子を見る中で、水の冷たさや、濡れる感覚など感じています。
- ・足でバチャバチャすることで、泥の感触や水の跳ね返りを楽しんでいます。

家庭だったら

雨上がりの登降園時に、何かいつもと違う様子があるかもしれません。景色や身近な自然に目を向けてみてください♪